

地理歴史科・公民科（公共）学習指導案

1 単元名 政治参加と公正な世論の形成

この単元は、「2 内容」の「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の「ア」の「イ」に該当する。

2 単元目標

- (1) 選挙や政党などに関する知識を深め、意見を調整することの重要性を理解する。
- (2) 政党が掲げた政策を基に、協働して考察する。
- (3) 政治参加の大切さについて、自覚を深める。

3 単元計画(全体4時間)

(1) 指導計画

- ・選挙の意義と課題 1時間
- ・各政党が目指すのは小さな政府？大きな政府？ 2時間（2／2本時）
- ・政治参加と世論の形成 1時間

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・選挙や政党などに関する知識を深め、意見を調整することの重要性を理解している。	・政党が掲げた政策を基に、協働して考察している。	・政治参加の大切さについて自覚を深めている。

(3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次	【学習課題】〈単元を貫く問い〉「なぜ政治参加が大切なのか。」 ・選挙の意義と課題	【ねらい】選挙の仕組みや課題について理解する。	●			(B) 選挙制度の仕組みや課題について発表している。 (C) ヒントを与える。	・指名による発表。
第2次 (2)	【学習課題】〈問い〉「各政党が目指すのは小さな政府？大きな政府？」 ・小さな政府と大きな政府（ワーク1） ・各政党の立ち位置（ワーク2）	教員の説明を聞きながら記述する。 【ねらい】インターネットで調べながら、グループごとに協働し、論拠を基に、各政党の立ち位置を決める。		●		【思】論拠を基に判断できている。 (C) 机間指導などの支援をする。	・ワークシートのワーク2の記述を基に評価する。
第3次	・各グループでの発表 ・立ち位置の修正	【ねらい】他者の意見と調整しながら判断できる。		○		【思】5参照	・ワークシートのワーク3の記述を基に評価する。
第4次	・政治参加と世論	【ねらい】世論や政党に対する理解を深め、政治参加の大切さについて自覚を深める。			●	(B) 政治参加の大切さについて、自分事として記述している。 (C) 自分はどうするかと発問する。	・ワークシートの記述を基に評価する。

#### 4 本時の指導と評価の計画

##### (1) 本時の目標

政党が掲げた政策を基に，協働して考察する。

##### (2) 本時の展開

(○…「評定に用いる評価」，●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	・前時までの確認	・ワーク2を振り返る。	
展開	・政党の立ち位置を発表。	・5人1組のグループをつくる。そこで，政党の立ち位置と理由をそれぞれ発表する。	・前時のグループとは異なる生徒で新たなグループをつくらせる。
まとめ	・政党の立ち位置を修正	・他者の意見を踏まえて，政党の立ち位置を修正する。またその理由を記述する。	・個人で取り組ませる。 ・他者の意見を取り入れない場合は，その理由を示すよう指導する。 ○ワーク3【思考・判断・表現】

##### (3) 本時の評価規準

・「5 評価問題（評価材料）及び評価規準」参照

#### 5 評価問題（評価材料）及び評価規準

ワーク3【思考・判断・表現】

・自己の意見と他者の意見を適切に調整している。

評価規準①

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・他者の意見を取り入れた（取り入れない）合理的な理由が一つ記述されている。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・他者の意見を取り入れた（取り入れない）合理的な理由が二つ記述されている。
「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導
・他者の意見を取り入れた（取り入れない）合理的な理由が記述されていない。 →次の授業で，ヒントを示し再度，思考を促す。

#### 6 成果と課題

学習指導要領において，公民の目標には「現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して…合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。」とある。公共の目標にも同様の趣旨の記述がある。本実践ではこの目標を意識し，直近の国政選挙を題材に，「小さな政府・大きな政府」という概念を活用した。また，合意形成を視野に入れながら構想したことを議論する場を設定した。

##### (1) ワーク2について

4人1組のグループをつくり，直近の衆議院総選挙における各政党の政策をインターネットで調べさせ，小さな政府的なことと大きな政府的なことに分類させた。適切に分類できないグループは想定したよりも多く，そのようなグループにはアドバイスをした。この活動を通して，小さな政府と大きな政府という概念に対する理解が深まったと感じた。分類した政策を基に，各政党の立ち位置を決める際は，拾い出した政策の個数で立ち位置を決めるグループが多かった。各政策が，どの程度国家の関与を強めるかなど効果を検討して立ち位置を決めるグループは，ほぼ無かった。

##### (2) ワーク3について

ワーク2のとときと異なるメンバーで5人1組のグループをつくり，各グループ内でワーク2を発表させた。その後，個人でワーク3に取り組ませた。ワーク3で他者の意見を取り入れさせたのは，合意形成を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うためである。評価については，A評価が78%，B評価が21%，C評価が1%であった。多くが，合理的な理由とともに他者の意見を取り入れることができたようだ。